

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	建築生産 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック必携建築資料				
担当教員情報					
担当教員	赤石 辰夫		実務経験の有無・職種	有・施工管理 一級施工管理技士	
学習目的					
建築施工の基本概念として、工事の請負形態や契約条件や工事監理者との関わり、施工管理の5大要点とその管理方法などについて理解する。その上で、仮設工事全般についての知識と、各種構造体別の工事についての知識を身に付ける。建築生産 1 の範囲では、木造工事において在来軸組み工法を中心に、基礎工事や組み立てに関する内容を学ぶ。鉄筋コンクリート工事では、鉄筋工事・型枠工事・コンクリート工事ごとに工事に関する内容を学ぶ。					
到達目標					
施工者（元請負）が、発注者（施主）や工事監理者と関わりながら1つの建築工事をまとめていくための知識と、その工事を管理していく様々な手法について学ぶ。また、木造建築と鉄筋コンクリート建築に分けて、それぞれの工事を行うために必要な仮設計画や、工事を行う専門職の技術をまとめていく管理手法と重点項目などについて、国家試験に出てくるキーワードを中心にして学ぶ。					
教育方法等					
授業概要	教科書を中心に解説を進めるが、建築工事がより身近に感じられるように教員の経験も交えて説明を行う。項目ごとに区切りとなる小テストを行い、個人ごとの理解度の確認をする。				
注意点	身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、建築一般構造や建築材料の授業と密接に関連しているので、それらのテキストも参照すること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する		
	小テスト	30%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する		
	平常点	20%	普段行われる演習問題の理解度や取り組みについて判断する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	建築施工の概要 1		建築士と施工管理技士について／契約と監理と管理		
2回	建築施工の概要 2		品質管理と工程管理		
3回	建築施工の概要 3		安全管理と環境管理		
4回	建築測量と工事届		ベンチマーク・縄張り・遣り方・墨出しと各種届け出書類の提出先		
5回	仮設工事		総合仮設計画・仮囲い・足場		
6回	木造工事 1		木材の種類ごとの性質と木目による性質		
7回	木造工事 2		基礎の鉄筋コンクリート工事とアンカーボルトの設置工事		
8回	木造工事 3		木材の加工と建て方工事		
9回	木造工事 4		木造の屋根工事		
10回	鉄筋コンクリート工事 1		大規模な根切り工事と山留工事		
11回	鉄筋コンクリート工事 2		直接基礎工事と杭基礎工事		
12回	鉄筋コンクリート工事 3		鉄筋の加工と組み立て工事		
13回	鉄筋コンクリート工事 4		鉄筋の接合と型枠工事		
14回	鉄筋コンクリート工事 5		コンクリートの材料の種類と受入検査		
15回	鉄筋コンクリート工事 6		コンクリートの打設と養生		